

平成 31 年度 名古屋市立西部医療センター
初期臨床研修医募集要項（二次募集）

1 プログラムの名称

プログラムの名称	定員	追加募集
名古屋市立西部医療センター臨床研修病院群 医師臨床研修プログラム	9 名	1 名

2 研修プログラムの概要

別添のとおり

3 募集及び採用の方法

1) 応募資格

平成 31 年第 113 回医師国家試験受験予定者であり、いずれの病院にもマッチングしていない者

2) 応募書類および応募方法

臨床研修事務担当へ電話もしくはメールによって募集状況を確認の上、下記①～④の所定の応募書類を、『臨床研修医応募書類』と朱筆の上、簡易書留にて送付してください。

① 受験申込書（写真貼付） 別紙 1

② 履歴書 別紙 2

③ 成績証明書

④ 返信用封筒（82 円切手貼付・返信先住所氏名を記入。定型 12.5×23.5cm）1 通

3) 試験内容

書類選考、面接試験

4) 募集締切日

平成 31 年 3 月 22 日（金）

採用が決まり次第、募集を終了します。

5) 試験日

随時

4 研修の開始時期

平成 31 年 4 月 1 日

5 処遇等(平成 30 年度現在)

別添のとおり

6 問い合わせ先・書類送付先

名古屋市立西部医療センター

管理部管理課庶務係 臨床研修担当 井上 京子

所在地：〒462-8508 名古屋市北区平手町 1 丁目 1 番地の 1

Tel : 052-991-8121 Fax : 052-916-2038

E-mail : resident@west-med.jp

名古屋市立西部医療センター臨床研修病院群 医師臨床研修プログラムの概要

プログラムの特色

- 1 名古屋市立西部医療センター(以下、「西部医療センター」とする。)は病診連携を基礎にした地域の中核病院であり、日常診療でよく遭遇する疾患をはじめ、急性期小児周産期医療を研修できる。
- 2 西部医療センターは総合病院として各科の専門医が充実しており、ローテート各科で専門医から指導を受けることができる。
- 3 西部医療センターの各科は関連学会の指定教育施設の認定を多く有し、将来専門医を取得するために必要な研修ができる。
- 4 成人救急医療に関しては年間 5,000 台以上の救急車の受け入れ実績のある東部医療センターに所属し、緊急を要する病態や疾病、外傷に適切に対応できる救急医療の基本的な診療能力と、1次、2次、3次救急医療の区別を理解し、上級専門医・指導医へのコンサルテーション、より高次の医療の必要性の判断と実践の指導を受けることができる。
- 5 選択科目の研修期間を充実し、西部・東部医療センターと高度先端医療を担う名古屋市立大学病院との連携を強化した臨床研修病院群の中から、各研修医が将来のキャリアを見据えた研修診療科の選択が可能である。

研修計画

- 1 研修期間は2年間であり、4月1日より開始する。
- 2 研修方式は当院臨床研修プログラムに基づいて行う。
 - (1)オリエンテーションプログラム
臨床研修を開始するにあたり、実践的なオリエンテーションプログラムを2週間行う。実際の診療を開始する上で全ての研修医に共通に必要な研修項目として、医療安全管理、院内感染予防、保険診療のしくみ、チーム医療の意義、院内使用薬品と処方、臨床検査オーダー手順、患者の栄養管理、地域医療、接遇などを研修する。
 - (2)計画の作成
各研修医の要望を加味し、プログラム責任者と研修医の間で調整し、オリエンテーション期間中に時間割と研修医配置表を編成する。
 - (3)ローテート研修
以下のローテート研修を行う。(1か月を1単位とする)
 - ① 1年目研修—必修科及び選択必修科・選択科
内科6(総合内科0.5、呼吸器内科1、消化器内科1、循環器内科1、神経内科0.5)を必修とし、残り2か月を内分泌・糖尿病内科1、血液・腫瘍内科/リウマチ・膠原病内科1、腎臓・透析内科1の3科から2科を選択する)
外科1、麻酔科1、産婦人科1、救急部門3(小児・新生児科1、東部医療センター救急科1を必修とし、西部医療センター救急部門1又は東部医療センター心臓血管センター・東部医療センター脳血管センター〈循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・神経内科から2科を選択、各0.5〉1のいずれかを選択する)1年時より次項に記述してある選択科より選択することも可能。

1年次

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研修科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	外科	麻酔科	産婦人科	救急	救急	救急

② 2年目研修—必修と選択

必修科—地域医療1

地域医療は新城市作手診療所、足助病院、上矢作病院、名古屋市厚生院、緑市民病院で、ローテート研修する

選択科—11か月

当院における整形外科、脳神経外科、精神科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科及び名古屋市立東部医療センター、名古屋市立大学病院の各診療科より幅広く選択する。

または、志望する科及び関連する科を中心に選択ローテートする。

(希望により同一科を複数単位研修することも可能)

選択必修科の精神科は名古屋市立大学病院で研修する。

2年次

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研修科	地域医療	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科

(4) 救急診療

プライマリ・ケア習得の最優先業務として位置付けており、1年次・2年次を通して、日常よく遭遇する疾患については自力で対処できる基本的な知識と技術を養う。時間内の救急患者は救急部門のローテート時、および、各科ローテート時に、担当医(救急担当医、主治医)の指導のもとで、研修する。時間外救急患者は当直業務として行い、“副当直”として当直医の監督のもとで研修する。原則的に月4～6回程度の当直を担当する。

日直(休日のみ)8:45～17:15、宿直(毎日)17:15～8:45とする。

(5) その他教育に関する行事

ローテートする各科の症例検討会、抄読会、カンファランスなどに積極的に参加する。その他、医局会主催による各科のレクチャー、病院全職員を対象とした全体研修、教育講演会、各種委員会勉強会等に参加する。

(6) 病理解剖・CPC

病理解剖には当番の研修医が立ち会う。定期的に行われるCPCに出席し、症例検討に参加する。

- 1 研修医の身分
名古屋市立病院臨床研修医(非常勤職員)とする。
- 2 給与
月額で支給する。
1年次 基本手当/月 364,000 円
2年次 基本手当/月 404,000 円
その他通勤費用を支給。
給与は、2年間通してすべて名古屋市から支給される。
- 3 勤務時間及び休暇
午前8時45分から午後5時15分までの間において、7時間30分とする。
別に命じられた場合を除くほか、日曜、土曜、休日は勤務を要しない。
年次休暇は4月1日から翌年の3月31日までの間を通じて20日付与。
- 4 時間外手当及び当直
原則、時間外勤務はなし。ただし、指導医の指示などにより行うことがあり。
当直は、月4~6回を予定。(宿日直手当:22,000 円)
- 5 研修医の宿舍
なし。ただし、住居を自らが契約者となって賃借し、単独で家賃を負担している場合に、月額 30,000 円の住居手当を支給する。
- 6 病院内の研修医室
インターネットが利用できる環境(Medline 等の文献データベース、教育用コンテンツ等が利用できる)が整備された研修室あり。
- 7 社会保険・労働保険
協会けんぽ及び厚生年金保険に加入。労働者災害補償保険法の適用。
雇用保険に加入。
- 8 健康管理事項
健康診断:年1回実施。
- 9 医師賠償責任保険
病院における加入はしない。個人加入は強制。
- 10 外部での研修活動
学会、研究会等への参加は可。参加費用の支給は、一定の範囲内で可能。
- 11 院内保育所
完備。(24 時間対応)
- 12 アルバイトの禁止
医師法第 16 条の 3 の規定により、研修医には研修に専念する義務が課せられているので、研修期間中はアルバイトを禁止する。